

事務事業名 はたちのつどい事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：662

施策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-14-552
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	教育部
基本事業の 成果指標			担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	~	新規・継続	継続	会計区分		実施計画
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
20歳になる新成人（4月2日から翌年の4月1日生まれが対象）		新成人（20歳対象）を主とした実行委員会により、企画、運営を行う。市広報、ホームページ等により公募したはたちのつどい実行委員会への指導・助言その他諸事務を行う。はたちのつどい当日の運営スタッフとして、中高生ボランティアや青少年指導員・少年補導員に協力要請を行っている。				
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
成人としての自覚を促すことにより、新成人が主体的に社会参加できるようにする。						

4. 成果（簡易評価は未記入）								
成果指標名称	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	目標
		実績	実績	当初	要求	計画	計画	
参加者数	人	802	720	770	770			800
成人を迎えた人のうち成人式に出席した人の割合	%	73	62	75	75			75

5. コスト								
事業費	計	千円	1,352	1,325	1,443	1,491		
	国	千円			0	0		
	県	千円			0	0		
	地方債	千円			0	0		
	その他一般	千円	1,352	1,325	1,443	1,491		
正職員人工数	人工	0.3	0.3	0.3				
正職員人件費	千円	2,376	2,318	2,345				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)	千円	3,728	3,643	3,788	1,491			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）	
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）	令和5年のはたちのつどい（旧成人式）も新型コロナウイルス感染症対策を行い二部制で実施した。

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）			
対象動向	維持	類似事業	なし
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし
成果向上余地	中程度		

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）	改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
--------------------------	-------	----	-----	----	------

改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）

対象者から、はたちのつどい実行委員を募り、テーマ・記念品の決定、式の進行など、企画運営をさせることで、新成人（20歳）にとって魅力ある式典を開催していく。	はたちのつどいの運営サポートには、市広報等で募集依頼を行い、応募等の中・高生ボランティアや青少年関係団体をボランティア活用しており、将来の新成人へのアピールを含めている。
---	---

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）

新成人に「成人としての自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を励ます」ことを目的に、式典を実施する事業として開始。成人の日が変更されたことに伴い、三連休の真ん中の日（中日）に成人式をしてほしいという市民の要望もでてきた。	備考・特記事項 or 進行管理欄 平成26年成人式より、成人の日（ハッピーマンデー）の前日の日曜日（三連休の真ん中の日）に、日程変更して実施することとなった。成人年齢引き下げ（2022年4月）に伴い名称を「はたちのつどい」に変更。
---	--